

中小企業サポートかながわ



使える! 中小企業支援策を2分で拾い読み
第201号 2017年12月

12

CONTENTS

特集1 プロ人材活用センター	02
特集2 中小企業再生支援協議会	04
特集3 きらりと光る企業支援	06
CASE STUDY 情熱社長に聞く ～一般社団法人 国際STEM学習協会 渡辺 代表	08
大連市の展覧会と上海の商談会に県内企業が参加	10
1月の巡回あっせん相談/ 金融相談窓口/ワーク・ライフ・バランス企業担当者交流会	11
第34回神奈川工業技術開発大賞	12
日系企業の期待高まる米国南部	14
スキルアップセミナー/産業廃棄物排出事業者向けセミナー 平成30年度神奈川県溶接技術コンクール	15
KIPイベント情報12月～1月	16

子どもから大人
まで自由なもの
づくりをサポート



視察で訪れたドバイ教育機構の責任者と、ファブラボ鎌倉前で

表紙の人

一般社団法人 国際STEM学習協会

代表理事 **渡辺 ゆうか氏**(左)
(p.8-9「情熱社長に聞く」)

デジタルからアナログまでの多様な工作機械を備えた、実験的な市民工房。
「自分たちの使うものを、使う人自身がつくる文化」の醸成を目指す
[本社所在地] 鎌倉市扇ガ谷
[設立] 2011年

特集1

任せられる人材、足りてますか?
貴社と専門的人材を繋ぐ
プロ人材活用センター



公益財団法人
神奈川産業振興センター

事業を牽引する専門的人材の採用は

「神奈川県プロ人材活用センター」 にご相談ください

「神奈川県プロ人材活用センター」では、皆さまの新規事業展開や新製品開発、販路拡大といった「攻めの経営」への転換に必要な能力を持ったプロフェッショナル人材(※)の採用をお手伝いしています。金融機関や中小企業支援機関等と連携し、「攻めの経営」に積極的に取り組む企業さまのご要望をヒアリング。47社もの民間人材ビジネス事業者と協力体制を取ることで、スキルと人脈を併せ持つ専門的人材とのマッチングをサポートします。また、採用後の人材が定着できるよう、フォローアップも行っています。平成29年度は上半期(4～9月)だけで26件の成約があり、さまざまな新天地で「プロ人材」が活躍しています!〈神奈川県受託事業〉

(※)新たな商品・サービスの開発、その販路の開拓や、個々のサービスの生産向上などの具体的な取り組みを通じて、地域企業の「攻めの経営」を具現化していく人材

●神奈川県プロ人材活用センター TEL045(633)5008

株式会社 ジョブ(新横浜)

採用月:2017年2月

人材活用 事例1

内製化を1から構築できる「プロ人材」の採用で、コスト大幅削減へ

企業情報

主な事業:食品の異物検査用・医療用・工業用非破壊検査用のX線発生装置メーカー

代表者:

代表取締役 山本 敬一郎

本社所在地:

横浜市港北区新横浜1-19-8

設立:1988年

従業員数:70名



採用したプロフェッショナル人材 事業分野拡張人材

機械工場設立担当 藤原 俊則 氏(55歳)

前職:大手ベアリング会社の工場管理

採用前 プロ人材を採用したキッカケ

「機械部品の購入価格を抑えるため、部品を内製化したい」

採用後 採用により得られた効果

「加工図面から見積算出ができ、加工機の選定にも目が効く人材の採用で、新工場を準備中」



神奈川県プロ人材活用センターからの助言等

部品製造における、コスト削減の見積作成や、加工・板金の指導、工場設計の立案等、具体的な人材ニーズを明確化した。

経営者とプロ人材の声

山本社長 信金×プロ人材活用センターの連携で、採用に成功

生産コスト30%削減するための新工場を任せられる人材を求めてこれまで外注していた電子機器部品の製造を、新工場の建設により内製化し、コストを30～40%カットする計画。しかし、部品製造のスキルは弊社になく、コスト削減の見積りや、加工・板金の指導もできる管理職人材をどうやって探していいか悩んでいたところに、横浜信用金庫さんが「神奈川県プロ人材活用センター」に繋いでくれました。

公的機関のフィルターを通過した人材から、セレクトできるプロ人材活用センターと2度の面談後、人材紹介会社より数名の方の情報を持ってきて頂きました。今後30年は稼働させる工場を立案でき、ゆくゆくは工場長を任せられるのはこの人しかいない、と藤原さんに面談しました。部署を増やして新しいことを始めるには社内の反発も予想されましたが、KIPのような公的機関からの意見は、社内の合意形成を後押ししてくれました。また信金さんは、「人」「もの」「金」の相続に加えて、「情報」

を提供してくれます。プロ人材活用センターとの連携で、新たに海外部門でも人材の採用を予定しています。

藤原さん

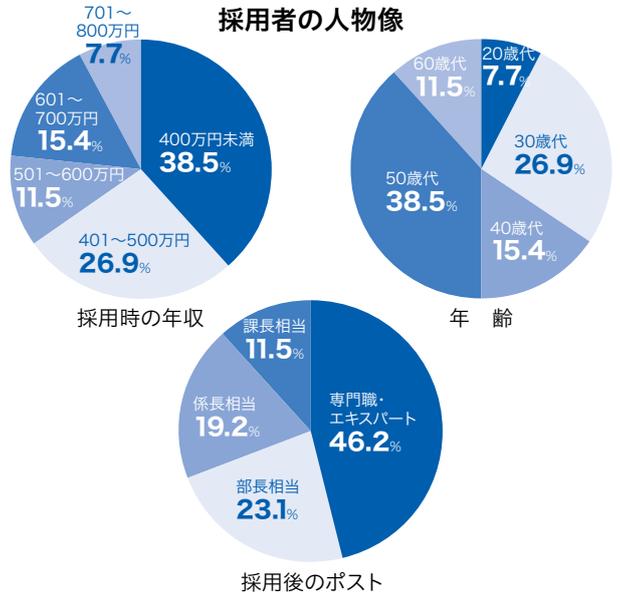
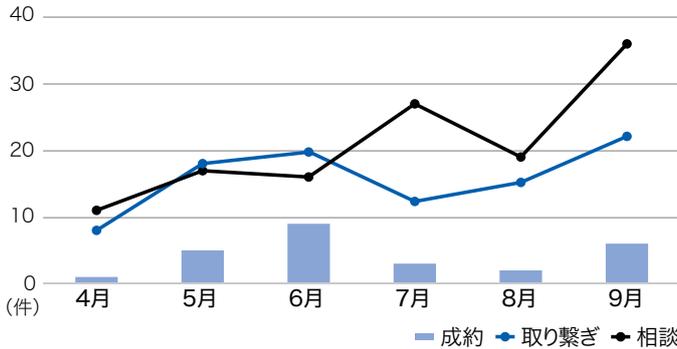
以前の職場では、海外で新しい部門の立ち上げなどに携わっていましたが、リーマンショックのあおりで規模が縮小され、人件費削減の部署に異動になりました。しかし、事業を拡大させる方向に自分の力を使いたいとの思いは諦められず、当社に転職しました。社長や経営層の方に直接、会社の将来にわたる提案をできること、そして新工場設立に向けて自分に任せられている実感、この2つに大きなやりがいを感じています。分からないことを聞きやすい社風にも感謝です。



プロ人材 藤原さん(左)、山本社長

平成29年度上半期(4月～9月)活動実績

実績 ■相談実施件数 126件
 ■人材事業者への取り繋ぎ件数 98件
 ■人材事業者での成約件数 26件



株式会社 まるだい運輸倉庫(小田原)

採用月: 2017年4月

人材活用事例2 全国の運送業に精通する「プロ人材」が、社内に新しい風を入れる

企業情報

主な事業: 貨物運送、倉庫業務、その他物流システム全般
 代表取締役社長: 奥山 恵子
 本社所在地: 小田原市成田480-5
 設立: 1958年
 従業員数: 286名



採用したプロフェッショナル人材 販路拡大を担う人材

事業改革部 森本 茂樹 氏(54歳)
 前職: 大手食品メーカーの営業、大手運送会社のドライバー・運行管理・購買等
 採用前: プロ人材を採用したキッカケ
 「小田原の物流会社として、全国に明るい経験者が当社の強みを活かしながら社内改革してほしい」
 採用後: 採用により得られた効果
 「改革への情熱と現場への気づかいを併せ持つ人材により、社内の風土改革やコストカット等、現場を改革中」



神奈川県プロ人材活用センターからの助言等

採用時の年収や、業務スキル等、具体的なニーズを明確化。またプロ人材の入社後は、双方をフォロー。

経営者とプロ人材の声

秋元副社長 47社の民間人材会社に繋がる「神奈川プロ人材活用センター」が、特殊なスキルの求人にも期待以上の人選をしてくれた

アナログが主流な運送業に、大きな危機感

わたくし自身、10年前までは東京で会社勤めをし、新規事業の立ち上げや店舗責任者を経験してきました。まるだい運輸倉庫は尊敬する祖父が興し、叔母である現社長とともに当社を盛り上げたいとの思いで転身いたしました。来年60周年を迎えるにあたり、当社も物流のプロとしてお客さまのニーズにさらに応えられるよう、今こそ全く違う感覚を持った起爆剤の投入が必要と考えました。これまでの人脈を頼るか、管理職専門の派遣会社に依頼するか思案していたところ、日本政策金融公庫の厚木支店からプロ人材活用センターを紹介されました。

センターのヒアリングから2カ月という短期間で採用へ

運送業界では配車マンと呼ばれる「運行管理士」は、例えば小田原のハローワークに登録している方でも1名いるかどうかという特殊な職業です。今回、「運行管理等の現場経験がありマネジメント能力のある人材」という難しいリクエストに短期間で候補者が上がったのも、「神奈川県プロ人材活用センター」が全国の民間人材会社と連携しているお陰です。また、採用時



の年収をどのあたりに設定するか等も、県内の情報に明るいスタッフに相談することができました。採用した森本さんは、火の玉のような仕事への熱量と、現場との信頼関係構築に心遣いできる部分を併せ持っています。燃料費の単位下げや、購買にコンペの手法を取り入れるなど、すでに多くのコスト削減で成果を出し、今後の顧客開拓でもますます期待しています。

森本さん

愛知県の会社に勤務していましたが、一身上の都合で関東圏に移住する必要があったため、民間人材会社に登録。営業のスキルを生かせる企業にポイントを置きつつ、年収など条件面で折り合いのつく企業を探す中で、業務経験をフルに生かせるまるだい運輸倉庫に入社を決意しました。今は事業改革部に配属となり、やりがいを感じています。まだまだ品質管理体制が整っておらず、早急に整備が必要と感じています。体制を整え営業活動に傾注できれば、いよいよ自分の力を発揮できると考えています。

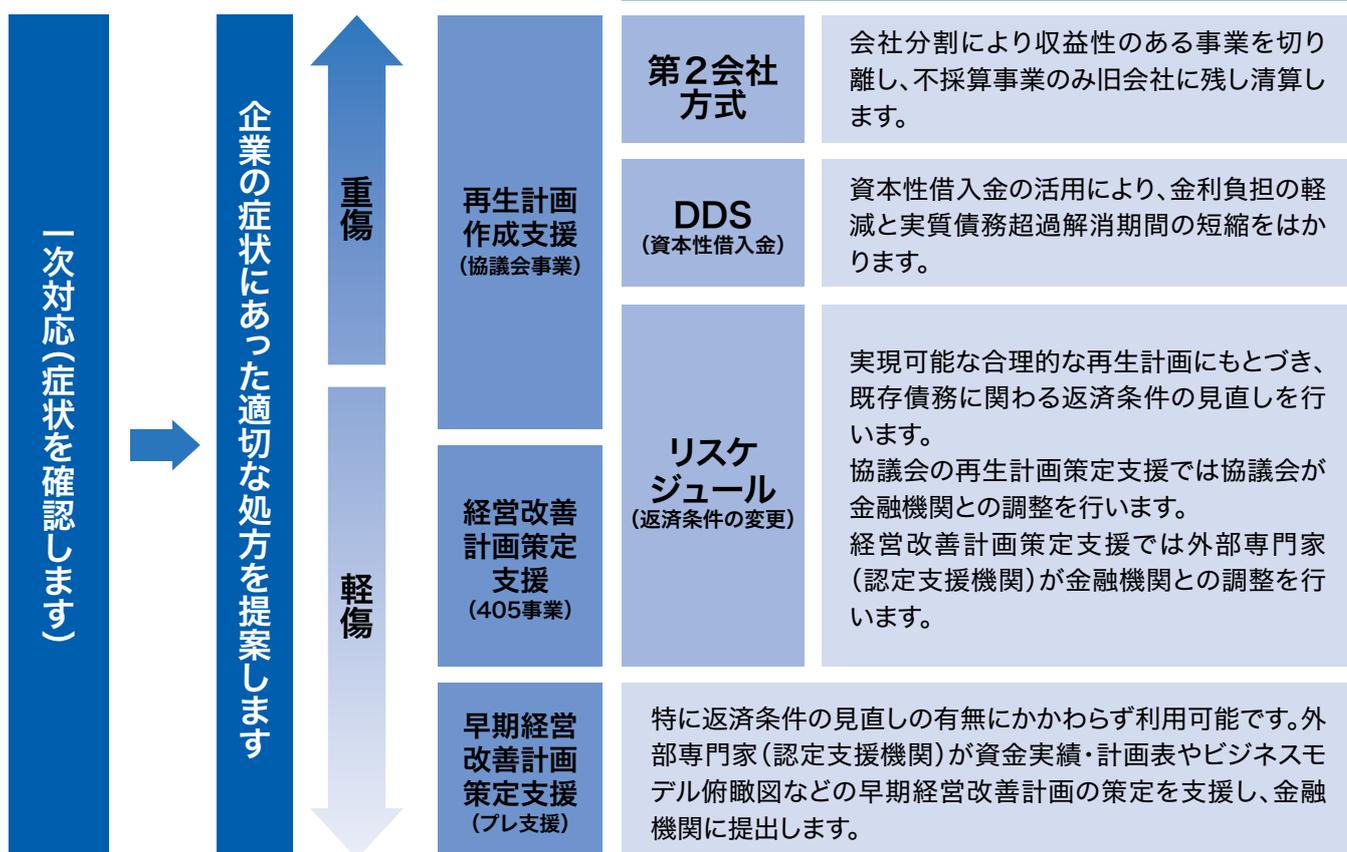
中小企業再生支援協議会は企業版の 一症状の重い方、軽い方から健康診断まで幅広く対応さ

神奈川県中小企業再生支援協議会では、事業再生に関する知識と経験を有する専門家（金融機関出身者、公認会計士、弁護士、中小企業診断士など）11名が、神奈川産業振興センター内に常駐し、ご相談企業の特性をふまえ、再生に向けた相談から再生計画の策定まで、個々の企業にあった、きめ細かな支援を行っています。

中小企業再生支援協議会では、公正中立な第三者としての立場から企業の事業・財務面の調査分析（デューデリジェンス）を実施し、ご相談企業の問題点とその原因等の分析等を実施したうえで、企業の再生計画案の策定を支援するとともに、金融機関に再生計画案を提示し、金融機関調整を行っています。

また、計画策定する企業については、3年間にわたって協議会がフォローアップに関与しています。計画の進捗状況を確認させていただくとともに、早期正常化に向けたアドバイスを行っています。

再生支援協議会のご提案メニュー



ご相談企業の状況を把握したうえで、金融機関との調整負担が小さい場合や返済条件の見直しが必要でない場合など、ご相談企業の状況に応じて、「早期経営改善計画策定支援（プレ支援）」や「経営改善計画策定支援」などの利用もご案内しております。特にプレ支援は今年の5月29日からスタートしましたが、すでに140社以上にご利用いただいております。ぜひご利用をご検討ください。

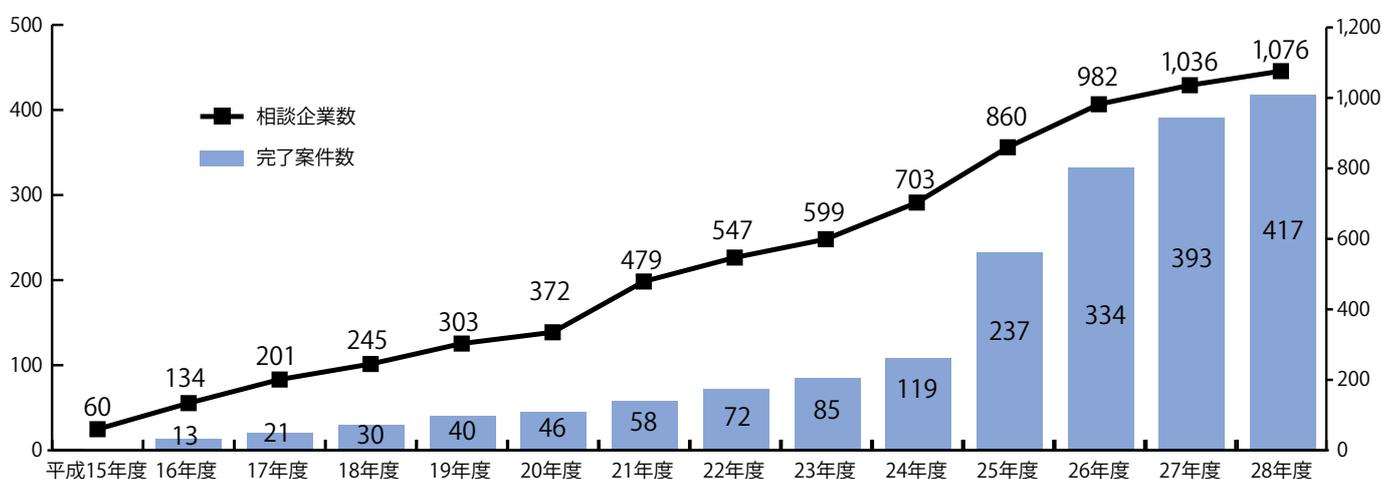
地域総合病院です。

させていただきますー



再生支援協議会の相談件数・計画策定件数

神奈川県中小企業再生支援協議会では平成15年度から昨年度までの14年間で、累計1,076件のご相談を受け、417件の再生計画を策定しました。



神奈川県中小企業再生支援協議会

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル12階

TEL 045(633)5143 E-mail saisei@kipc.or.jp

スゴくなりそうな企業をスゴくします！

きらりと光る企業支援

KIPでは、県内シェアトップなど特に大きな成長につながる経営資源と可能性を有する企業の事業を「きらりと光る企業」として認定しています。目指すべきゴールの実現に向けた具体的なロードマップをマネージャーとともに作成し、その実現に向けアドバイス。課題が明らかになった際は、業界の専門家など外部資源を活用して解決を図るほか、展示会出展の支援などを通して積極的な事業展開を応援しています。

●経営支援課 TEL 045(633)5203



KIP古澤マネージャー
[得意分野]
製造業を中心とした経営戦略策定
および現場改善

支援事例

町工場のチャレンジ

金属加工業から「プラズマ世界一」を目指して

——— 泉工業 株式会社

板金からプラズマにチャレンジ

泉工業株式会社は33年前に現社長の塩脇勝実氏が創業。板金加工、切削加工、溶接加工などの金属加工業を主軸に置き、社会に貢献できる企業を目指してきた。金属加工業としては製品のクオリティを追求する職人魂を持ったスタッフが大勢揃っており、顧客の要望に応じて板金・切削加工から溶接・組立までをワンストップで生産。低コスト、高品質、短納期を実現してきた。

より社会貢献できる新規事業を模索していた塩脇社長に、大学の先生らからプラズマの効果について話を聞く機会が訪れる。大腸菌を死滅させる等まだまだ分からないことが多いが、企業として開発をしている所は少ないとのこと。プラズマ技術を習得することで将来的に医療業界へ参入できればと、約8年前、本業に軸足を置きながら着手する。手探りの状況から(現)技術マネージャーが大学に出向くなどして技術力を高め、少人数体制でプラズマ事業を推進する。

真空プラズマの常識を変えた！

物質は気体の状態でさらに温度を上昇させると陽イオンと電子が電離し、非常にエネルギーの高い状態へと変化する。その状態がプラズマである。プラズマを物質表面に照射することでさまざまな効果が発揮できる。その中で泉工業が着目したのは容器の内壁を親水化、つまり水が下に滴り落ちるのではなく濡れた状態を保てるようにする機能であった。

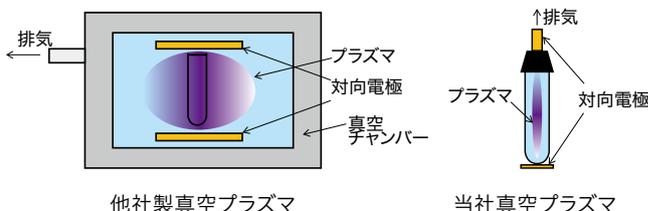
平面部材へのプラズマ照射は既存技術として普及していたが、立体物の内壁にプラズマを照射し、親水性を均一に付与させる装置は市場でほとんど見られなかった。立体物の内部にプ

ラズマを照射するには真空雰囲気中でプラズマを発生させる方式が必要となる。通常真空プラズマは真空チャンバーなど大きな装置が必要だが、装置の大型化や高コスト化につながり実用化を難しくしていた。

泉工業では真空雰囲気を形成させるチャンバーを必要とせず、対象物(立体容器)内部を真空雰囲気にすることでスポット的な真空プラズマを生成できる技術を開発した。

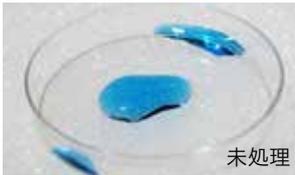
【特許第5785650号】

他社方式との違い



この技術を使うことによって、バイオ(細胞培養)や創薬・製薬の開発時に使用される試験管やシャーレの親水性を高めることができる。

シャーレ試験結果



未処理



処理済

しかし、プラズマ事業を進めて行くうちに大きな壁にぶち当たった。「真空プラズマの常識を変えたが、使う側の信頼を得るまでには大きなハードルがあることを実感した」(塩脇社長)

技術だけではモノは売れない～KIPと事業化を目指す

事業化を実現するためKIPと相談を重ねビジネスプランを策定。昨年10月、『きらりと光る企業』に認定された。

[ステージ1] 卓上型プラズマ発生装置(簡易型)を企業の開発部門、研究機関(大学、公的研究所)に普及させ、「プラズマ処理」の効果を認知させる

[ステージ2] 試験管やシャーレなどを製造または使用する企業の生産ラインに組み込む

経営×技術の支援をフル活用

KIPマネージャーが何度も企業に足を運び、課題解決のためにさまざまな支援を行った。

【認定から1年間に行った支援】

① 特許の活用

弁理士を専門家派遣し、技術の棚卸、知的財産として守るべき技術の明確化、出願すべき特許の検討をすることで3件の追加で特許を出願した。また、支援を通じて今後独自に技術を防御できる体制を整備。

② デザイン性向上

「(地独)神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)」と連携

し、デザイン開発を行った。デザイン開発チームと何度も打ち合わせし、これまでの無機質なデザインを一新。商品ロゴも作成した。10月に出展したバイोजパンでは多くの企業から高評価を得る。

デザイン開発によるモデルチェンジ



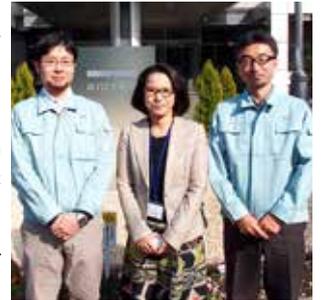
旧モデル



新モデル

デザイン開発チームより(事業化支援部 企画支援課)

KISTECのデザイン支援は、市場性や生産性、操作性などを総合的に考慮し推進している。本製品では、板金加工をベースとし、女性が少なくないバイオ研究所で使われることを想定して、清掃性が高く、シンプルで優しい面構成になることをポイントにデザインした。また、販売促進、ブランド力向上を狙ったネーミング、ロゴマークを提案している。



③ 若手従業員教育

中長期的な視点から事業を支える人材を育成するため、金属加工の現場で作業している若手従業員(20～30代)を集め、自律的に行動できる人材を目指した勉強会を毎月開催。

支援を通じて製品や技術のレベルを向上させ、今期(2017年10月期)のプラズマ事業の売上目標を達成することができた。来期は販促活動を強化させながら、飛躍の年となるようにさらなる事業拡大を目指して一丸となって取り組んでいる。

「プラズマで世界一に！」

KIPと連携して事業化を進める塩脇社長の想い

当社のような小さな中小企業が新しい事業をスタートさせるためには、独自で全てを行うことは難しい。そのため、いろいろな視点から当社が足りない点を協力してもらえることが事業化には欠かせない。KIPやKISTECの支援を力に事業を前進させており、今後も継続したバックアップによりさらに事業を拡大させることができる。現在は、東京都市大学と医療用プラズマ装置の共同研究も進め、数年後の実用化を目指している。プラズマには大きな可能性がある。「プラズマで世界一になろう!」「プラズマと言ったら泉工業!」をスローガンに、社員一丸となって、産業や地域の活性化に貢献できるよう事業拡大を目指していきたい。

泉工業 株式会社 代表取締役 塩脇 勝実 氏
 【事業内容】 金属加工・プラズマ装置・油回収装置
 【所在地】 綾瀬市深谷上8-4-3 [TEL] 0467(76)6047(代)
<http://www.izumikg.co.jp/>



【ファブラボ*】東アジア第1号

*デジタルからアナログまでの多様な工作機械を備えた、実験的

子どもから大人まで、自由なも

例えば、「こんなボールペンが欲しいな」と思ったその人が自由に作れたら楽しくない？ という発想から生まれた市民工房「ファブラボ」。2002年にアメリカのマサチューセッツ工科大から始まり、2011年に東アジア初の創設となったのがファブラボ鎌倉だ。3Dプリンターやレーザーカッターなどの工作機器を備え、モノを創り出す元となるデジタルデータのプログラミングなど、実現化するための技術も教えてくれるらしい。今では世界80カ国、1,000カ所に広がっているそうだが、顧客はどうやって利益を出している？ 未知の世界にワクワク半分、半分コワゴワ訪問した。



東アジア初の事業形態。なのに理解者・賛同者がいっぱい。なぜ？

ファブラボ鎌倉は、デジタルデータを元にコンピュータに接続された工作機械によって木材やアクリルなどさまざまな素材を形成する工房で、数台のパソコンと3Dプリンター、レーザーカッター、それにレンタルスペースが備わる。事業の内訳は教育2割、大企業のコンサルや研修が8割弱、それに工房の利用。2020年から小学校でプログラミング教育が必須化されることを見越して、総務省や慶應義塾大学SFCとも協働している。

渡辺代表は、地域に工房を開放したり中高生にワークショップを行ったり、全国の講演会やSNSで発信し続けることで、着実に賛同者を増やしている。「モノを創る行為はポジティブでパワーに溢れた楽しいこと！ 子どもから大人まで自由なモノづくりをサポートしたい」。青写真は、テクノロジーを活用し

たものづくりをより身近にし、新しい学び方、そして働き方を実現することにある。

2013年に「クラウドファンディング」に成功したのも、「普段からSNS上で、何を目指し、どのようなことを大切に、どこに向かうのかを常にいろんな方々と共有」していたからだ。

また、「学ぶ」「作る」に続くファブラボ第3のキーワード「シェアする」ことが生き方の根っこにある渡辺代表は、いろんな場所に気軽に顔を出す。鎌倉での活動を通じて、その後の事業性評価融資に繋がる出会いがあった。

商工会議所のコーディネーターで「事業性評価融資」(*)へ

(*)決算書の内容や担保・保証に必要以上に依存することなく、事業内容や成長可能性等も詳細に分析して行う融資

鎌倉商工会議所は、成長の可能性がある鎌倉の中小事業者を発掘し、積極的に支援することで知られる。渡辺氏の「発信力、巻き込む魅力がすごい」(担

当者)と、事業計画に耳を傾けた。

拠点拡張、講座などのプログラム開発、オンラインなどのコミュニティー形成事業の開発にかかる資金が必要だったが、担保がない。日本初の事業形態ゆえ、同業他社との比較もできない。「どのように成長のストーリー性をお伝えするかは、変化する社会状況を前提にしている事業のためとても苦勞していた」(渡辺代表)。会議所は、渡辺代表に丁寧ヒアリングし分析、その事業性を高く評価した。日本政策金融公庫と湘南信用金庫に「事業性評価融資」による協調融資を打診する。

渡辺代表は、総務省の「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」採択に際し、事業計画書を作成していたが、金融機関向けの「数字を含めた実現可能性のあるストーリーづくり」は初めてだった。会議所は、渡辺代表と事業計画書を何度もブラッシュアップし、また金融機関と渡辺代表との相互理解の調整、金融機関が短時間では把握し



な市民工房のネットワーク

のづくりをサポート

一般社団法人 国際STEM学習協会

「ファブラボ鎌倉」

代表理事 渡辺 ゆうか氏



(左から)日本政策金融公庫 田村氏、鎌倉商工会議所 柴崎氏、渡辺代表、湘南信用金庫 木下氏・岡田氏



づらい定性的な経営情報を中心に積極的に提供した。

湘南信用金庫の担当者はこう語る—「ご融資に際しては、一般の方々でも理解し賛同できる事業計画書であるかがとても重要です。なぜなら、すんなり分かる言葉の先にお客さまがいるからです」。

ソーシャルビジネスの担い手を積極的に支援する日本政策金融公庫も、実現可能な収支計画に支えられた渡辺代表のビジョンを高評価。こうして3者による協調融資が実現した。

「誰とどう働くか」—模範解答のない悩みの末に

ファブラボ鎌倉では、入退室管理にスマホのアプリ「スマートロック」を採用したり、経理にクラウドの会計ソフト「money forward」を使ったり、業務を効率化できるIT技術は積極的に活用する。「人がやるべきこと、機械に任せられた方が早い事の線引きをすることで本

質的な課題に取り組むことができます」(渡辺代表)。

そんな渡辺代表に、事業を興して以降、一番の苦労を尋ねたところ、「誰とどう働くかというチームワークの部分です」と、アナログな回答が返ってきた。

スタッフが抜けたときの苦労から、渡辺代表がたどり着いたのは、実施体制の見直し。2人体制で回すようにしたのだ。コスト増を見込んでいたが、2人にするだけで、相談する、スキルを交換する、最終チェックができる、プレッシャーを分け合える、などにより生産性がアップしたという。

「会社を運営している方は同じような悩みを常に抱えているかと思いますが、“自分らしい経営”や“成長”とは何かに気づくまではとても辛かったです。頭のどこかで、教科書に載っていて模範解答があるかと思っていました。自分の限界、チームの可能性、これまでの経験、本に書いてあったこと、人からの体験談、いろいろありますが、どのように

バランスを取っていいのか手探り状態でした。結局、答えはシンプルで、一番大切なのは”今の自分の目の前の人”がどの部分を大切に、どうしてここにいるのか。そこを丁寧に掘り下げながら一緒に仕事をするようになったら、随分と気持ちが楽になりました。そうすると、チーム全体のパフォーマンスも上がるから不思議です」

人を惹きつけてやまない渡辺代表。レーザーカッターを操作し子どものような表情を見せた。



鎌倉商工会議所 担当者

ファブラボ鎌倉さんを支援したいと思った理由は、大きく2つあります。1つは、まさにその「事業性」です。これは、ビジネスモデル(その“拡張性”を含めて)やコア・コンピタンス(競合他社に真似できない核となる能力)、将来性・成長性、経営者の資質・能力等々です。2つ目は、1つめの経営者の資質・能力にも関わりますが、ずばり、渡辺代表の「Grit(グリット)」がとてもすばらしいと感じたからです。グリットは、これだと思ったことに対して、成功するまでやり抜くという熱い情熱と長期にわたって継続的に努力ができる強い意思という意味合いで、走ることに置き換えれば、短距離走ではなく、長距離走に強いというイメージです。上手くいっている起業家の方は、新しい、古いビジネスにかかわらず必ずといっていいほどグリットを持っていると思います。事業性も大切ですが、特にグリットがある経営者は支援者としてとても応援したくなります。

一般社団法人
国際STEM学習協会

鎌倉市扇ガ谷1-10-6 結の蔵舎
<https://www.fablabkamakura.com/>

●この記事に関するお問い合わせ
日本政策金融公庫 横浜支店 TEL 045(201)9913
湘南信用金庫 鎌倉営業部 TEL 0467(24)1231
鎌倉商工会議所 中小企業支援課 TEL 0467(23)2563



中国市場

中国での販路開拓、拡大を目指して 大連市の展覧会と上海の 商談会に県内企業が参加しました!

●国際課 TEL 045(633)5126

【2017大連日本商品展覧会】

9月15日(金)～17日(日)の3日間、中国・大連で開催された日本商品展覧会に県内企業6社が出展しました。



今年度で9回目となる当イベントは、高品質な日本製品を現地に幅広くPRするためのイベントで、多くの現地企業や市民が集まります。日系企業の出展目的は、マーケティングデータの収集です。出展商品の印象や感想を直接収集すること

で、今後の中国での販売促進活動にとって大切な情報を得ることができます。出展品は最近の中国国

内の所得の向上を反映し、洗剤やトイレタリー、化粧品、日用雑貨、食品、酒類といった「日常生活の質の向上」に関連した品目が多く見受けられました。

現地で日本製品は、品質の高さと安全性が高く評価されており、国内より割高な価格で販売されている製品も多数見受けられます。

県内企業が出展する場合は、大連・神奈川経済貿易事務所のサポートを受けることができます。現地の事情に詳しいスタッフがサポートするので、海外に不慣れな出展企業でも安心です。

中国での販路拡大に関心がある企業さまは、ぜひとも来年の出展をご検討ください。



【FBC上海2017 ものづくり商談会】

上海市の虹橋空港の近くにある国家会展中心で9月21日(木)～23日(土)の3日間、「FBC上海2017 ものづくり商談会」が開催され、KIPからは支援を受けた県内企業5社が出展しました。

今年で20回目を迎えるこの商談会は、日系製造業の出展社数が中国内の商談会では1位と言われ、今年約500社の出展がありました。

「商談会」となっていますが、各企業には展示会のようなブースが用意されています。商談希望は事前に調整され、指定された時間に相手企業のブースへ行く、あるいは、相手企業が自分のブースに来てくれるという形式になっています。商談相手がいない時間であっても、来場者がブースを訪問するので、自社製品のPRができるというメリットがあります。

出展した企業の中には、「1年間で出展する展示会(商談会)の中でも特にこ



の商談会を重要視している。毎年良い反応がある。中国での開催にもかかわらず、日系企業が多く来場してくれるのも魅力」という意見や「出展企業の中には商談したい企業が見当たらなかったが、来場した企業と良い話しができた」という意見がありました。KIPでは、今回出展いただいた企業に対して引き続き、中国ビジネスの販路開拓・拡大を支援していきます。

中国でのビジネスをお考えの県内企業の方は、大連・神奈川経済貿易事務所まで、ご遠慮なくお問い合わせください。





取引相談会

新たな取引先をご紹介します! 1月の巡回あっせん相談

KIPでは、県内中小企業者等の皆さまの安定的な取引の確保・拡大を図るため、各地区で受・発注取引のあっせん相談を行っています。あっせん相談は、県内7地区の商工会議所等とKIPの川崎・相模原両駐在事務所でも実施しています。新たな販路開拓をお考えの皆さま、お近くの会場をご利用ください。

●取引振興課 TEL 045(633)5067

開催場所	日時	
藤沢商工会議所	4日(木)	13:00～16:00
小田原箱根商工会議所	10日(水)	13:30～16:00
横須賀三浦地域県政総合センター	11日(木)	13:00～16:00
秦野商工会議所	12日(金)	
茅ヶ崎商工会議所	15日(月)	
大和商工会議所	16日(火)	
平塚商工会議所	17日(水)	
川崎駐在事務所 ※1	毎週木曜日	13:00～16:00
相模原駐在事務所 ※2	10日、24日(水)	

- ※1 川崎市産業振興会館 6F
〔(公財)川崎市産業振興財団〕内
- ※2 相模原商工会議所商工会館 3F
〔相模原商工会議所〕内

県からのご案内

金融相談窓口を ご利用ください

神奈川県 制度融資

検索

中 小企業者の皆さまの事業資金の借入や資金繰りに関する相談に、電話や面接(予約不要)でお応えします。

金融相談窓口

- 相談電話 045(210)5695
- 受付日時 月～金曜(祝・休日、12月29日～1月3日を除く)
8時30分～12時、13時～17時15分
- 場 所 県庁本庁舎2階(県金融課内)

ワーク・ライフ・バランス 企業担当者交流会を開催!

残業規制や労働力人口の減少等、
企業の働き方改革は急務です。

今 後労働力人口が減少していくなか、管理職には女性、高齢者、障害者、子育てや介護を抱える社員など多様な人材の能力をフルに発揮し、経営に貢献するマネジメントが求められています。そうした管理職の企業における役割・育成等についてセミナー及びグループワークを開催します。(参加無料)

テーマ:ダイバーシティ推進につながる働き方改革:管理職に何が求められるのか
日時:2018年1月24日(水)14:00～16:00
会場:川崎市役所第4庁舎4階 第7会議室(JR川崎駅、京急川崎駅より徒歩約10分)
講師:法政大学キャリアデザイン学部教授 坂爪 洋美氏
対象:企業の管理職等30名
主催:神奈川県・川崎市



坂爪 洋美氏

神奈川県 企業担当者

検索

●県労政福祉課 TEL 045(210)5746



「第34回神奈川工業技術開発大賞」受賞技術・製品のご紹介 ～明日をになう独創技術は神奈川から～

県内の中堅・中小企業が開発した優れた技術・製品を表彰する「神奈川工業技術開発大賞」が決定し、10月23日(月)、神奈川県庁本庁舎大会議場にて黒岩知事、神奈川新聞社 並木代表取締役社長の出席のもと表彰式が行われました。今回はその受賞技術・製品をご紹介します。

「神奈川工業技術開発大賞」は昭和59年の創設以来、県と神奈川新聞社との共催で、県内の中堅・中小企業が開発した優れた技術・製品を毎年、表彰してきました。

今回は25件の応募があり、選考会(委員長:横浜国立大学名誉教授 関口 隆氏)において、特に優れている技術・製品を大賞(1件)に、企業化の状況が特に優れている技術・製品をビジネス賞(2件)に、優れている技術・製品を奨励賞(3件)に決定しました。



表彰式(提供:神奈川県)

■受賞技術・製品一覧

大 賞

深海用プロファイリングフロート「Deep NINJA」

株式会社 鶴見精機

▼受賞技術・製品

深海域の水温・塩分濃度等を観測するための水深4,000mまでの探索を可能とした観測用自律型フロートを開発しました。

▼企業概要

【所在地】横浜市鶴見区鶴見中央2-2-20

【TEL】045(521)5252 【HP】<http://www.tsk-jp.com/>

▼高評価された点

深海までの塩分・水温自動観測装置の開発は国際気象観測プロジェクト(Argo計画)の喫緊の課題です。本開発品は自社の特技である深水圧技術を活用した自律型フロートで、世界初の水深4000m探索を可能とし、海洋動態の正確な把握と中長期の気候変動予測の精度向上に大きく貢献するものとして高く評価されました。



ビジネス賞

未病改善高機能性野菜生産LED栽培システム

株式会社 キーストーンテクノロジー

▼受賞技術・製品

健康増進効果が期待できる栄養素を豊富に含んだ野菜を安定品質で安定的に供給できる栽培システムを開発しました。

▼企業概要

【所在地】横浜市中区太田町5-68-5 明和ビル2F

【TEL】045(222)3117

【HP】<http://www.keystone-tech.co.jp/>

▼高評価された点

機能性成分を多く含む野菜の効率的・周年栽培を可能とする人工光型植物工場の創出は未病改善・健康寿命延伸を目指した食生活の取り組みにとって重要な課題です。本開発は、植物の成長ステージごとに、葉に含まれる光合成色素・光受容体の吸収波長にあわせて赤色(660nm)・青色(460nm)・緑色(525nm)を組み合わせることで、ビタミンやポリフェノール等の生合成量をコントロールするシステムです。既に販売実績を有し、未病産業の創出に寄与する開発として評価されました。



多目的薄膜材料開発用成膜プラットフォーム

株式会社 ジャパン・アドバンスド・ケミカルズ

▼受賞技術・製品

半導体等の高機能材料の開発に向けた薄膜成膜技術に関する企業の様々なニーズに対応できる研究開発用成膜プラットフォームを開発しました。

▼企業概要

【所在地】相模原市中央区上溝1880-2 SIC3-3305

【TEL】042(707)0807

【HP】<http://japanadvancedchemicals.com/>

▼高評価された点

半導体等の多くの最先端分野で用いられている高機能材料の開発には、材料の素材探索から成膜テスト・評価までの開発期間を短縮することが重要な課題です。本開発品は自己設計・構築可能な多目的成膜装置で、化学合成技術を活用した成膜材料の抽出・選定とセットで活用されます。従来数ヶ月要した材料開発期間を数日から数週間に短縮し、企業の材料開発期間とコストの大幅な圧縮を可能とした点が高く評価されました。



奨励賞

高性能集音器「Chochu(聴寿)」

株式会社 エース・E&L

▼受賞技術・製品

聴力が低下している人(難聴者)が利用する、低価格で優れた音響特性や音質・音量調整機能等を有した高性能集音器を開発しました。

▼企業概要

【所在地】相模原市南区麻溝台6-9-9

【TEL】042(740)8111

【HP】<http://ace-el.co.jp/index.html>

▼高評価された点

高齢化社会を迎えて聴力低下者の増加が見込まれているが、医療機器としての補聴器は高価であり、安価な聴力支援機器の開発は急務です。本開発品は、自社開発のプリント基板一体型ロータリースイッチ機構や回路設計を工夫した音量調整機能を有した高性能集音器です。利用者は音量・音質調整の各スイッチ操作により自らの聴覚特性に合った補聴具にすることができ、軽度の難聴者には十分な支援機能を有しているものとして評価されました。



単眼カメラ映像及び画像における距離・角度測定技術

ジェネクスト 株式会社

▼受賞技術・製品

単眼カメラの映像を基に、交通事故発生時の状況を科学的に再現することを可能にする技術を開発しました。

▼企業概要

【所在地】横浜市港北区新横浜3-18-3

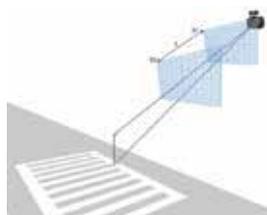
新横浜KSビル9F

【TEL】045(594)9366

【HP】<http://www.genext.co.jp/>

▼高評価された点

本開発技術は、自動車に搭載されているドライブレコーダの画面上の建物や対向車の位置と地図データを照らし合わせることで、自車と対向車の移動速度・移動方向を正確に分析して交通事故発生時の状況を再現することを可能にした技術です。防犯カメラやスマートフォンの動画映像にも応用が可能であり、高齢者等の交通安全・交通事故予防システムの開発を通じて安心安全な交通社会の構築に貢献する点が評価されました。



冷暖房可能ドレンレススポットエアコン「スポットレスQ」

日本ピーマック 株式会社

▼受賞技術・製品

ドレンレス技術により、冷房時に発生するドレン水を蒸発させ、排水作業なしで連続運転することを可能とした移動型のスポットエアコンを開発しました。

▼企業概要

【所在地】厚木市飯山3150番地

【TEL】046(247)1611

【HP】<http://www.pmac.co.jp/>

▼高評価された点

通常のスポットクーラーは局所的に冷却可能で移動型であるため、冷却時に発生するドレン水を貯める排水タンクが満水になった時の処理が課題です。本開発品は、機器の廃熱を利用して蒸発させることによってドレン水を処理し、さらにヒートポンプを利用して暖房用にも利用できる構造とした点が高く評価されました。



日系企業の期待高まる 米国南部

神奈川県メリーランド駐在員
樋口 泰介



ヨロズオートモティブアラバマ社(YAA)



Piolax Corporation(ジョージア州)
樹脂工場及び自動倉庫棟

日本貿易振興機構(ジェトロ)が行った「米国・カナダ進出日系企業実態調査(2017年1月)」によると、回答企業525社の約8割が、今後2~3年で市場拡大が期待できる地域として米国南部に期待を寄せています。今回は、この米国南部で事業を展開する県内企業を紹介します。

地域とともに成長を(株式会社ヨロズ)

自動車サスペンションの開発製造等を手掛ける株式会社ヨロズ(横浜市港北区)は、ミシガン州、テネシー州の生産拠点に加えて、2015年10月に南部アラバマ州にヨロズオートモティブアラバマ社(YAA)を設立しました。約100億円を超える投資に加え、2020年までに300人を雇用することによる経済効果に地元政府も期待を寄せ、当時の州知事は同社の進出を大いに歓迎しました。

YAAの矢後敏之社長は、「弊社は2015年に会社設立し、2017年1月から生産を開始しました。2016年1月の地鎮祭には、州知事、上院議員他多くの地元の方々に参列いただきました。現在、テネシー工場からの設備移管も進んでいるほか、将来のビジネス受注も順調に進んでいます。自動化を積極的に進め地域とともに成長をしていきたい」と今後を見据えています。

戦略的な設備投資(株式会社パイオラックス)

自動車用の樹脂・金属ファスナー部品等の開発製造等を手掛ける株式会社パイオラックス(横浜市保土ヶ谷区)は、南部ジョージア州の拠点で設備投資を進めています。同社は、2015年以降、ホースクランプ(配管締結部品)を生産するための加工設備や、事業拡大及び業務効率化のための自動倉庫を数十億円を投じて新設するなど、設備投資を積極的に進めてきました。高さ約18mの倉庫内を、受注状況などに応じて梱包された部品が縦横無尽に移動する光景が印象的です。同社の現地子会社Piolax Corporationの石川元一社長は、「弊社は1988年8月8日に設立、来年はちょうど30周年の節目となります。引き続き北米自動車市場は堅調に推移すると予想しておりますので、今後も積極的に設備投資を推進、特に自動化、機械化による品質改善、省人化投資を優先的に進めていきたいと考えています」と今後の展望について語っています。

米国南部市場への期待

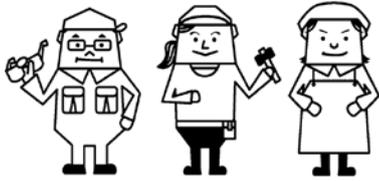
アラバマ州には、トヨタ、ホンダ、現代、メルセデス・ベンツが生産拠点を構え、乗用車の生産台数は年間100万台で全米5位につけるほか、ジョージア州には、メルセデス・ベンツ、ボルシェが北米本社、起亜が生産拠点を置くなど200社以上の自動車関連企業が集積しています。これら地域を所管するジェトロアトランタ事務所の森則和所長は、「米国南東部は、安価な生産コスト、優秀な人材、充実した物流網などを通じ、製品の競争力を高められることに定評がありましたが、最近では多様な業種の参入や成長市場としての魅力も加わり、「ビジネスのやり易さ」としての魅力がさらに高まっていると実感しています」と同地域の魅力を説明しています。

米国南部の成長を県内企業が活用できるよう、ニーズに応じた米国への展開支援に取り組んでいきたいと考えます。

●県企業誘致・国際ビジネス課 TEL 045(210)5567

スキルアップセミナー (在職者訓練)のご案内

技術を身につけ、業務の充実・
向上にお役立てください!



会社を強くするスキル。
あなたを強くするスキル。

県 立産業技術短期大学校や職業技術校では、主に中小企業等に在職中の方を対象に、さまざまな専門分野のセミナーを開催しています。仕事に必要な技術を身につけるために、スキルアップセミナーをぜひご利用ください。ご希望の多い講座内容であらかじめ日程を設定して募集する「メニュー型」と、企業や団体の方々のご要望に応じ開催する「オーダー型」の2種類のセミナーを実施しています。

【セミナー例】★工業技術分野「ティグ溶接」「表計算ソフトの関数機能を用いたデータ処理の活用」等 ★建築技術分野「ビル設備管理技術者基礎講習」等 ★社会サービス分野「介護技術の基本」等 ★管理・経営・階層別分野「製造現場における生産管理の進め方」等、様々なセミナーを実施しています。

申込み方法や内容等についての詳細は
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f370/>

●県産業人材課 TEL 045(210)5715

産業廃棄物排出事業者 向けセミナーを開催!

神奈川県循環型社会づくり計画の
趣旨と廃棄物処理法のポイント等

本 年3月に神奈川県循環型社会づくり計画を改訂し、本計画で定めた目標を達成するためにさまざまな取り組みを行っています。その一環として、排出事業者の方向けのセミナーを開催しますので、ぜひご参加ください。

開催日時: 2018年1月29日(月) 14時00分～16時45分

場 所: 横浜情報文化センター 情文ホール(横浜市中区日本大通11)

内 容: (1) 神奈川県循環型社会づくり計画の概要について
(2) 廃棄物処理法の概要及び排出事業者責任について
(3) 適正価格と処理料金を抑えるためのポイント
※内容は変更になる場合があります。定員あり

詳細・申込は

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/evt/e2375686.html>

●県資源循環推進課 TEL 045(210)1111(内線4149)

平成30年度神奈川県 溶接技術コンクールを開催

県内の溶接技術者が腕を競う
コンクールです!ご参加ください!



溶 接従事者の日々の研鑽を促し、県内の溶接技術のさらなる向上と、工業の発展を図るため、「神奈川県溶接技術コンクール」を開催します。

日 時: 2018年2月2日(金)

会 場: 一般財団法人日本溶接技術センター(川崎市川崎区本町2-11-19)

競技区分: 被覆アーク溶接の部、炭酸ガスアーク半自動溶接の部

申込期限: 2017年12月22日(金)

参 加 料: 25,000円(神奈川県溶接協会の会員は23,000円)

主 催: 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会

詳細・申込は<http://www.jwes-kanagawa.jp/>
一般社団法人 神奈川県溶接協会へ

●一般社団法人 神奈川県溶接協会 TEL 044(233)8367

EVENT information

KIP イベント情報

12月 ≫ 1月

イベントの詳細・お申し込みは

<http://www.kipc.or.jp>

※予定情報につき、詳細はこちらでご確認ください

ほぼ毎週開講! 「よろずの学校」～学び“会”場づくり。

疑問に思ったことはその場で発言

※内容が変更になる場合があります

→解決! 1名でも開講します(各先着10名)

▶場所: 神奈川中小企業センタービル

▶講師: 神奈川県よろず支援拠点のコーディネーター

負債の整理について

▶開催日時: 2018年1月11日(木) 16:00~17:00
▶講師: 狩倉 博之 氏

売上拡大!

HP作成を依頼する前に準備すること

▶開催日時: 2018年1月15日(月) 16:00~17:00
▶講師: 森 智亮 氏

事例から学ぶ中小企業向け中国進出のポイント

▶開催日時: 2018年1月18日(木) 16:00~17:00
▶講師: 章 麗霞 氏

就業規則作成時のポイント

▶開催日時: 2018年1月22日(月) 16:00~17:00
▶講師: 佐藤 かおり 氏

今さら聞けない「知的財産」

～御社にもきっとある知的財産～

▶開催日時: 2018年1月29日(月) 16:00~17:00
▶講師: 島谷 健太郎 氏

からのお知らせ



プレスリリースワークショップ[3日間]

～自社を発信! プレスリリースを実際に書いてみよう

▶開催日時: 12月8日・15日・22日いずれも(金) 16:00~17:00
▶講師: 浦川 拓也 氏



御社の商品・サービスを

「ブランド」にしちゃうワークショップ

▶開催日時: 12月18日(月) 16:00~17:00
▶講師: 高久 裕司 氏



小さい会社の「人」のトラブル

▶開催日時: 12月25日(月) 16:00~17:00
▶講師: 貝吹 岳郎 氏

メルマガ配信中

こんな方にぜひオススメです

県内中小企業向けの補助金情報や、開催間近のセミナー・イベント告知をまとめてお届けしています。タイムリーな情報を逃さぬよう、ぜひ登録を!

●経営総合相談課 TEL 045(633)5201

無料のセミナーやイベントに参加したい

補助金などのお知らせを逃さず知りたい

- 起業・創業
- 新分野進出
- 販路拡大
- 事業承継
- 資金調達
- 経営改善
- 海外進出
- 事業再生

無料メルマガの登録方法

今すぐアクセス

Step 1

下記URLまたは右のQRコードから登録フォームアクセス
<https://www.kipc.or.jp/mailmagazine/>

Step 2

メールアドレスを入力し登録ボタンをクリック



「中小企業サポートかながわ」はKIPのホームページにも掲載しています。冊子をご希望の方には、毎号お届けします(無料)。郵便番号/所在地/企業名/担当者名(個人も可)/部数を、右記にご連絡ください。

編集/発行

公益財団法人 神奈川産業振興センター (KIP)

Kanagawa Industrial Promotion Center

横浜市中区尾上町5-80

神奈川中小企業センタービル

TEL 045(633)5201

FAX 045(633)5194

<http://www.kipc.or.jp>

